オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスをご利用できます。

- 電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、V301SH からは操作できません。一般電話からの操作は「**サービスガイドブック**」をご覧ください。
- ご契約いただいた地域によっては、ご利用になれないサービスや機能が制限されるものもあります。
- ご利用にあたって、月額使用料がかかるサービスもあります。お申し込み時にご確認ください。

転送電話サービス	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときに、かかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します。(☞P.13-3)
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないとき(割込通話サービスを設定しているときは除く)などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。(☞P.13-4)
運転中モード	お客様が自動車を運転中などで現在電話に出られない旨を、相手にアナウンスでご案内します。(☞P.13-7)
割込通話サービス	今までお話ししていた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。(☞P.13-8)
三者通話サービス	２人での通話中に、もう１人に電話をかけ、３人同時に通話できます。また、相手を切り替えながらの通話もできます。(☞P.13-9)
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号を確認できます。

オプションサービスのご利用にあたっては、あらかじめ次の点をご確認ください。

オプションサービス	ご契約された地域		
	関東・甲信／東海／関西	北海道／北陸／九州・沖縄	東北・新潟／中国／四国
転送電話サービス	−	−	−
留守番電話サービス	−	お申し込みが必要	お申し込みが必要
運転中モード	ご利用になれません	−	−
割込通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
三者通話サービス	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要
発信者番号通知	お申し込みが必要	お申し込みが必要	お申し込みが必要

−：お申し込み不要で、そのままご利用になれます。

転送電話サービス

転送先の電話番号を登録する

1 **◉ 7 1 2 の順に押す。**

2 **転送先の電話番号を入力し、◉を押す。**

接続中のメッセージが表示されたあと、登　した転送先電話番号が表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

- 転送先を携帯電話や自動車電話にする場合は、電話番号全　を入力してください。一般電話の場合は、市外局番から入力してください。

3 **☎を押す。**

待受画面に戻ります。

補足

転送先として登録できない電話番号
- 「１」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
- 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
- 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービスを開始する

あらかじめ転送先の電話番号を登　しておいてください。

1 **◉ 7 1 1 の順に押す。**

2 **「1あり」（着信音を鳴らす）または「2なし」（着信音を鳴らさない）を選び、◉を押す。**

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

- 「2なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。

3 **☎を押す。**

待受画面に戻ります。

注意

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

転送電話サービスを停止する

1 ◉73の順に押す。

2 「1YES」を選び、◉を押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

3 [通話]を押す。

待受画面に戻ります。

転送電話サービス開始後の着信中

■ 着信音が鳴っている間に[通話]を押すとそのまま通話できます。
- 転送時の着信音を「なし」にしているときは、そのまま転送先に転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

転送電話サービスの設定状況の確認

1 ◉74の順に押す。
2 「1YES」を選び、◉を押す。
- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

3 [通話]を押す。
- 待受画面に戻ります。

留守番電話サービス

北海道／北陸／九州・沖縄／東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、別途お申込みが必要です。

留守番電話サービスを開始する

1 ◉72の順に押す。

2 「1あり」（着信音を鳴らす）または「2なし」（着信音を鳴らさない）を選び、◉を押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
- 「2なし」は、関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみご利用になれます。

3 [通話]を押す。

待受画面に戻ります。

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービスを停止する

1 ◉73の順に押す。

2 「1YES」を選び、◉を押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

3 [通話]を押す。

待受画面に戻ります。

留守番電話サービス開始後の着信中

■ 着信音が鳴っている間に[通話]を押すとそのまま通話できます。
- 転送時の着信音を「なし」にしているときは、そのまま留守番電話センターに転送されます。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）

留守番電話サービスの設定状況の確認

1 ◉74の順に押す。
2 「1YES」を選び、◉を押す。
- 設定状況に応じて、確認画面が表示されます。

3 [通話]を押す。
- 待受画面に戻ります。

留守番電話サービスの機能

■ 留守番電話サービスには、応答メッセージの　音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります。利用できる機能や操作方法は、ご契約いただいた地域によって異なります。（詳しくは、「**サービスガイドブック**」をご覧ください。）

留守番電話サービス停止時
（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合のみ）

■ 着信中に◉[通話]の順に押すと、その着信に限り留守番電話センターに転送されます。（留守番電話サービスは停止のままです。）
■ 留守番電話センターに転送できなかったときは、確認メッセージが表示され、着信中の画面に戻ります。
■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.12-4）を「3留守電センター転送」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押しても、留守番電話センターに転送されます。

伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときは、次の操作を行うと「」が表示されます。

- 電話をかけたとき
- 電話がかかってきたとき
- 通話を終了したとき
- 電波の届く所で電源を入れたとき
- 一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合は数km〜数十km、郊外では数十kmが目安です。）

1 ◉7 7の順に押す。

2 「1YES」を選び、◉を押す。

留守番電話センターに接続されます。アナウンスに従って操作してください。

3 を押す。

待受画面に戻ります。

- 「」はV301SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

転送電話／留守番電話の呼出し時間設定

東北・新潟／中国／四国地域でご契約の場合は、ご利用になれません。

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V301SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V301SHの着信音が鳴る時間）を５〜30秒（５秒単位）の間で設定できます。

- 電波の届かない場所やご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは設定できません。また、一般電話からも設定できません。
- 着信音を鳴らさないようにしているときは、ここでの設定は無効になります。（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）
- お買上げ時には「20秒」に設定されています。

1 ◉7 0の順に押す。

設定できる呼出し時間が表示されます。

2 呼出し時間を選び、◉を押す。

接続中のメッセージが表示されたあと、確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

3 を押す。

待受画面に戻ります。

- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV301SHの簡易留守　（☞P.12-5）と合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。
  例：各サービスの呼出し時間…10秒　　簡易留守録の呼出し時間… 9秒
  と設定すると、簡易留守　が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）また、簡易留守　を優先していても、　音件数が一杯になると留守番電話サービスが優先されます。